

学校生活のきまりについて

I. 登下校について

- ① 予鈴8:25までに登校し入室しましょう。(集会の場合は整列を完了しておきましょう。)
※全校集会…月曜日 学年集会…水曜日(1年生)・木曜日(2年生)・金曜日(3年生)
- ② 自転車通学は禁止です。
※ケガ等で自転車通学がどうしても必要な場合は、担任まで申し出てください。
- ③ 欠席・遅刻・早退する場合は、当日の朝8:00～8:20までの間に保護者の方から学校に連絡(ミマホーム)をしてもらいましょう。
- ④ 遅刻してきた場合は、次の手順に従って入室してください。
 1. 玄関のインターホンを押して、「〇年〇組 名前 です。遅刻しました。」と言い、鍵を開けてもらい学校に入る。
 2. 職員室に立ち寄り、担任(不在の場合は学年の先生)に遅刻の旨を伝え、「本鈴遅刻連絡票」を受け取る。
 3. 授業の確認をして、その教室に行く。
 4. その授業担当の先生に「本鈴遅刻連絡票」を渡す。
- ⑤ 早退する場合は、担任(不在の場合は学年の先生)から家庭連絡を取ってもらい、必ず許可をもらってから早退すること。
帰宅後は「無事に着きました」と中学校に必ず連絡を入れること。
- ⑥ 特別な用事がない限り、終学活後、速やかに下校しましょう。

II. 服装について

- ① 服装は学校指定の標準服を着用すること。
※ブレザー・カッターシャツのボタンはとめること。また、集会・セレモニーでは一番上まで留めましょう。
※カッターシャツはズボン・スカートの中に入れること。
※カッターシャツの下は白、黒、紺、灰、茶、ベージュのシャツのみ着用可。ワンポイントも可。部活の服、ボーダー、ライン、ハイネックなど模様入りのものは不可。
※防寒用のセーター・カーディガン・トレーナーは、各自の判断で着用することができます。
ブレザーの下に隠れるサイズで、無地の白、黒、紺、灰、茶、ベージュのいずれかで無地のものにする。また、フードつきやハイネック型でないものとします。
※極寒時はスカートの下に、黒のタイツを着用してもよい。ただし、無地・単一色のもので地肌が透けて見えないものにかぎる。また、タイツを着用する際は靴下は着用すること。
☆ブレザーのボタンをなくした場合は 担任の先生から購入してください。(ボタン大70円 小60円)
- ② 防寒具として、登下校中のマフラー・手袋は着用してもよい。
ただし、校内に入れば速やかにはずしましょう。
- ③ 登下校時は帽子(キャップ)を着用してもよい。
ただし、校内に入れば速やかにはずしましょう。
- ④ 靴下は白、黒、紺、灰、茶、ベージュのいずれかの単色のものにする。ワンポイントは可。ボーダーは不可。
- ⑤ 靴は、白を基調とする運動靴を着用すること。2～3色のライン入りやワンポイントは認めています。ハイカットの靴は禁止です。靴のひもは白色に限ります。また、マジックテープ式の運動靴も認めています。
- ⑥ スカート丈は、膝が隠れる程度とすること。
- ⑦ ズボンを極端に低い位置ではかないこと。

- ⑧ ベルトは黒、濃紺、茶の無地のものを着けること。(白、その他は禁止)
- ⑨ 指輪、ミサンガ、ネックレス、ピアス等の装飾品も禁止です。

Ⅲ. 頭髪

- ① 清潔感のある髪型にする。長短が激しくない髪型にすること。襟にかかればアレンジせずに後ろでくくること。
 - ☆パーマ・染髪・整髪料の使用は禁止です。
 - ☆髪どめは、派手なものにしないこと。
 - ※髪どめのゴムは、黒・紺・茶色のものを使うこと。飾り付きは禁止です。

Ⅳ. 所持品

- ① 通学カバンは学校指定のポストンバッグを使用する。また、学校指定のナップザックだけで登校してもよい日は以下の場合のみとする。
 - ・午前中で授業が終了する日
 - ・行事やテストだけの日
 - ・特に指示がある日
 - ※ カバンには落書きしない。
 - ※ キーホルダーは1つまでつけることを認める。ただし、生徒手帳を超えない大きさのものに限る。
- ② クラブ用バッグは、クラブの用具を入れるためだけに使用すること。(通学カバン・補助カバンの代わりとしての使用は認めない)
- ③ 紙袋等を補助バッグ代わりに使用することは認めない。
- ④ 生徒手帳は常に携帯すること。
- ⑤ 学校生活に不必要なものは持ってこない。
 - ※ゲーム・時計・携帯電話・マンガ・お菓子・トランプ等は禁止です。上記の物を見つけた場合は、学校で預かり、保護者に直接返却します。
- ⑥ 飲み物はお茶や水とする。(水筒またはペットボトル可)

Ⅴ. 授業について

- ① 教科書・ノート・問題集・その他、自分の持ち物については、必ず名前を書きましょう。
- ② 机に落書きや傷などをつけたりしないでください。もし、天板を交換しなければならないほどに傷つけた場合は、弁償してもらいます。
- ③ 休み時間のうちに次の授業の準備を行い、授業の始まるチャイムが鳴るまでに着席しましょう。
移動教室の場合は、休み時間のうちに移動を完了させておきましょう。
- ④ 授業中は、私語は厳禁です。授業担当の先生の指示に従って学習活動を行い、自分の学力を高めましょう。
- ⑤ 忘れ物がないように、前日に時間割を合わせる習慣をつけましょう。

Ⅵ. その他

- ◎教科担任から許可された物以外は、必ず家に持って帰りましょう。
 - ※机の中に教科書・ノート類などを置いて帰らないこと。
- ◎お金や物の貸し借りをしないようにしましょう。